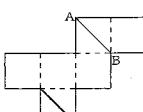
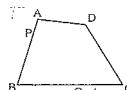
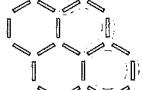


問題番号	正 答 答					配点	通し番号	採点基準
1 対学校に載る量る問題と題と	(1)	9				2	①	
	(2)	-41				2	②	
	(3)	$\sqrt{7}$				2	③	
	問2	イ				3	④	
	問3					3	⑤	
	問4	$y = 3x + 2$				3	⑥	
2	問5	$x = 2, y = 7$				3	⑦	
	問6	$3\pi \text{ cm}$				3	⑧	
	問1	$x = \frac{-3 \pm \sqrt{13}}{2}$				3	⑨	
	問2	ア 8 イ 5 ウ $\frac{5}{8}$				4	⑩	・アの配点は2点、イ、ウの配点は各1点とする。
	問3	0.25				3	⑪	
	問4	(正答例) 				3	⑫	
3	問1	ア 9 イ 13 ウ 4 エ $n - 1$				4	⑬	・ア、イは完全解答とし、配点は1点とする。 ・ウの配点は1点とする。 ・エの配点は2点とする。
	問2	(正答例) (nを用いた式) $11 + 8(n - 1)$ (考え方) 図4にはストローが11本必要である。図4をn個つくるとき、右の図のように8本ずつ囲むと、囲みの個数は($n - 1$)個である。 したがって、ストローの本数は $11 + 8(n - 1)$ 				3	⑭	・(nを用いた式)は、整理して $8n + 3$ となるものを1点とする。 ・(考え方)は、論理的に正しい場合は2点とする。
	問1	$y = -4x^2$				3	⑮	
	問2	$a = 2$				3	⑯	
4	問3	(正答例) 点Bとy軸について対称な点をDとすると、D(-3, 9)① BCとDCの長さは等しいから、線分ACと線分BCの長さの和が最も小さくなるのは、3点A, C, Dが一直線上にあるときである。② 3点A, C, Dを通る直線の式を $y = ax + b$ とすると、 連立方程式 $\begin{cases} 4 = 2a + b \\ 9 = -3a + b \end{cases}$ を解いて、③ $a = -1, b = 6$④ したがって、点Cの座標は(0, 6) (答) C(0, 6)				5	⑰	・論理的に正しい場合は正答とする。 ・①, ②が導かれている場合はそれぞれ1点とする。 ・③まで導かれている場合は3点とする。 ・④まで導かれている場合は4点とする。
	問1	105度				3	⑱	
	問2	(正答例) $\triangle ADE \cong \triangle HBF$ において、 仮定より、 $DE = BF$① $AD \parallel BC$ より、 $\angle ADE = \angle HBF$ (錯角)② 対頂角は等しいので、 $\angle AED = \angle CEB$③ $AC \parallel GH$ より、 $\angle CEB = \angle HFB$ (同位角)④ したがって、 $\angle AED = \angle HFB$⑤ ①, ②, ③より、一組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle ADE \cong \triangle HBF$⑥ したがって、 $AD = HB$				5	⑲	・論理的に正しい場合は正答とする。 ・①, ②, ③, ④が導かれている場合はそれぞれ1点とする。
	計					60		

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。ただし、中間点の配点は、上記の採点基準以外は認めない。

問題番号	正 答 答						配点	通し番号	採点基準
1	問1	$x = \frac{-3 \pm \sqrt{13}}{2}$						3	⑨
	問2	ア	8	イ	5	ウ	$\frac{5}{8}$	4	⑩
	問3	0.25						3	⑪
	問4	(正答例)						3	⑫
2	問1	ア	9	イ	13			4	⑬
		ウ	4	エ	$n - 1$				
	問2	(正答例) (nを用いた式) $11 + 8(n - 1)$						3	⑭
3	問1	$y = -4x^2$						3	⑮
	問2	$a = 2$						3	⑯
	問3	(正答例) 点Bとy軸について対称な点をDとするとき、 BCとDCの長さは等しいから、線分ACと線分BCの長さの 和が最も小さくなるのは、3点A, C, Dが一直線上にあるときである。 3点A, C, Dを通る直線の式を $y = ax + b$ とすると、 連立方程式 $\begin{cases} 4 = 2a + b \\ 9 = -3a + b \end{cases}$ を解いて、 $a = -1, b = 6$ したがって、点Cの座標は(0, 6) (答) C (0, 6)						5	⑰
	問1	105度						3	⑱
4	問2	(正答例) △ADEと△HBFにおいて、 仮定より、 $DE = BF$① $AD \parallel BC$ より、 $\angle ADE = \angle HBF$ (錯角)② 対頂角は等しいので、 $\angle AED = \angle CEB$ $AC \parallel GH$ より、 $\angle CEB = \angle HFB$ (同位角) したがって、 $\angle AED = \angle HFB$③ ①, ②, ③より、一組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので、 $\triangle ADE \cong \triangle HBF$④ したがって、 $AD = HB$						5	⑲
	問1	(1)	$\frac{10}{3}\pi \text{ cm}$						
5	問1	(2)	ウ					4	⑳
	問2	(1)	32 cm^3					3	㉑
		(2)	$\frac{1}{6}$ 倍					4	㉒
	問2	(3)	(正答例) 点P, Qが頂点A, Bを出発してからの時間をx秒とする。 2直線PQ, EGが同じ平面上にあるのは、 $PQ \parallel EG$ のときである。 PがAB上、QがBC上にある場合、 $PB = BQ$ より、 $10 - x = 2x$ を解いて、 $x = \frac{10}{3}$① また、QがAB上、PがBC上にある場合、 $QB = BP$ より、 $40 - 2x = x - 10$ を解いて、 $x = \frac{50}{3}$② (答) $\frac{10}{3}$ 秒後, $\frac{50}{3}$ 秒後					5	㉓
計								60	

(注) 正答表に示された事項以外のものについては、学校の判断による。ただし、中間点の配点は、上記の採点基準以外は認めない。